



「春の大渦」徳島県鳴門市

撮影：和歌山支部 小西里枝

## 焦点

今年も、桜の花を見ることができた。その開花、淡い色、散りゆく姿から季節の移り変わり、美しさ、さらには伝統までも感じる。誰もが、このことを享受できるのである。しかしながら、なにげないことと受けとりがちではあるが、決して偶然ではない。目に見えないところで、さまざまな人間の力がかかっている。

同じことが、税制改正についてもいえる。法人税法第35条が廃止された。当然な結果であるが、偶然ではない。税政連・税理士会が、国民納税者や中小企業団体を巻き込んで、粘り強く廃止に向けて活動したからこそ成果が得られたのである。

近税会の税理士はその会員であることを十分に理解しているが、近税政には入会した覚えがないという人も結構いる。近税会の会員はその資格において近税政の会員となると、規約上定められている。また近税政が近税会の目標達成のために存在する以上、必然的に近税政の会員でなければならない。

そのため税制改正等の成果は、中小企業及び近税会の会員は等しく受けることができる。偶然に得られたものではないことと、近税会の会員は近税政の会員であることを認識していただきたい。近税政活動はその会員の会費によって賄われるのであるが、税理士会の目的達成のために使われる。会費を皆が等しく分担することで、公平が保たれる。

# 主張

## 今こそ会員の結集を望む

昨今の日本を政治、経済、スポーツと色々な面から見て何となく失望感というか倦怠感を覚えるのは私だけであろうか。オリンピックでは中国・韓国にメダル数が大幅に引き離され、トヨタのリコール問題、普天間基地等対米問題、政治と金の問題しかりである。特に「少子高齢社会」「財政赤字の体質」を考えると心に重くのしかかる。

昨年夏、鳩山首相が「平成維新」と謳って、民主党が勝利を得た。それから半年以上がたち、予算編成が政治主導で行われ、子ども手当、高校の無償化、高速道路無料化など次々と新しい事業が織り込まれた。また、従来からの政策決定の過程が大幅に変更された。何事にもせっかちで付和雷同の国民には政府の政策を十分に理解され納得が得られたのであろうか。

この夏の参議院選挙では、現政権への信任が問われることになる。政治と金、マニフェストに記載された政策と財源との整合性、経済の成長戦略不足などから、現政権の支持率が急速に低下している。また野党も、受け皿としてはむしろ後退すらしている感がある。この閉塞した状況のなか、第三、第四の勢力が加わり政局は混沌としている。冷静に判断して、民意を示さなければならない。

我々税理士を取り巻く環境も日々変化している。登録政治資金監査人、会計参与、外部監査人制度などの新たな職域が拡大してきているが、税理士の使命に基づき公平な立場で社会的な責任を果たさなければならない。一方、デフレ経済下で中小零細企業の業績の悪化、税理士法改正、規制緩和、他土業との垣根などの問題が取り上げられ、特に税理士法改正については規制改革・公認会計士との相互参入問題などと深く絡み合っており、我々が取り組むべき大きな課題となっている。これらは政治家が国会において立法することになるため、税理士会の要望が取り入れられるように税理士政治連盟が政治家に陳情することから、その役割は大変重要なものとなる。

そのため、一人ひとりの税理士が少しばかりの負担と時間を割いて、もっと政治に目を向けて力を結集する必要がある。傍観者の立場でなく、自らが汗を流して課題に取り組まねばならない。より多くの会員に支えられた税理士政治連盟は、より強い声を政治家に伝えることができる。個人では成し得なかったことでも、結集すれば成し遂げられる。一人でも多くの税理士が、税理士による国会議員後援会などを通じて、税政連活動に参画することを望む。

( I . T )

### 目次

主張	2
推薦候補者7名を決定～第4回推薦審査会	3
国会議員等による確申期税務相談会場の視察	5
後援会ニュース	9
会員研修会を開催	17

### 連載

焦点	1
かんさいすずめ	18

## 第22回参議院議員通常選挙

## 推薦候補者7名を決定～第4回推薦審査会～

本部では、本年7月施行予定の第22回参議院議員通常選挙における当連盟推薦候補者を決定する平成21年度・第4回推薦審査会を4月5日に近畿税理士会館3階・会議室において開催し、府県連・支部連から報告のあった推薦候補予定者7名の審議を行った。この結果7名全員の推薦が決定した。

これに先立ち、大阪府連合会、兵庫県連合会、及び京都府・奈良県・和歌山県・滋賀県の各支部連では、支部及び税理士による国会議員等後援会と協議を行い「国会議員選挙区選挙におけ

る推薦基準」に基づき当該選挙における各府県の推薦候補予定者の決定を行った。

第4回推薦審査会では、各府県連及び各支部連における推薦決定の審議経過とともに推薦候補予定者の経歴や実績が報告され、推薦基準に基づいて慎重な審議が行われた。その結果、大阪府3名、京都府2名、兵庫県、和歌山県の各選挙区で各1名の合計7名の推薦が決定した。

また、4月20日には日税正副会長会において7名全員の日税政推薦が決定した。

## 国会議員選挙区選挙における推薦基準

1. 被推薦者は、自由主義経済体制下において、税理士制度の発展に寄与し、且つ、相当の効果を期待できると思われる次の各号の一に該当するものであること。
  - (1) 近畿税理士会、及び本連盟の重点施策に過去尽力された議員、または今後これらに対して協力が得られると認められる者
  - (2) 税理士会の会員で、真に税理士たる使命と信念に立脚した立候補予定者であり、且つ、当選の可能性が認められる者
2. 推薦は、衆議院議員小選挙区選挙及び参議院議員選挙区選挙について選挙区ごとに原則として1名とする。
3. 推薦は、選挙ごとに本連盟推薦審査会において決定する。

## 第22回参議院議員通常選挙における推薦候補者

候補者名	政党	選挙区	現職・新人	候補者名	政党	選挙区	現職・新人
おだち源幸	民主	大阪府	現職	二之湯智	自民	京都府	現職
北川イッセイ	自民	大阪府	現職	末松信介	自民	兵庫県	現職
石川ひろたか	公明	大阪府	新人	鶴保庸介	自民	和歌山県	現職
福山哲郎	民主	京都府	現職				

(順不同)

## 第22回参議院議員通常選挙における当連盟推薦候補者

(氏名、政党、現新、選挙区、略歴、写真)

<p>もと ゆき <b>おだち源幸</b> 民主党(現) 大阪府</p> <p>1963年生まれ。慶応義塾大学卒業。税理士・公認会計士。アーサーアンダーセン勤務を経てゼニックスコンサルティング設立。鳩山由紀夫議員秘書。04年参議院議員。予算委員会、財務金融委員会、事業仕分け第2ワーキンググループ主査。</p> 	<p>きたがわ <b>北川イッセイ</b> 自民党(現) 大阪府</p> <p>昭和40年関西大学文学部卒業。平成16年参議院議員通常選挙当選。同19年初代防衛大臣政務官、経済産業委員会筆頭理事、沖縄北方問題特別委員会理事、参議院自由民主党副幹事長、近畿圏整備委員会事務局長、新名神高速道路建設促進議員連盟事務局長。同22年文教科学委員会委員。</p> 
<p>いしかわ <b>石川ひろたか</b> 公明党(新) 大阪府</p> <p>大阪府出身。36歳。公明党国際局次長、同青年局次長、同「大阪未来プロジェクト」事務局長。96年、外務省入省。元外務事務官。首相等のアラビア語通訳を務めたほか、国連政策も担当。創価大学工学部卒。</p> 	<p>ふく やま てつ ろう <b>福山哲郎</b> 民主党(現) 京都府</p> <p>1962年生まれ。同志社大学卒業後、大和証券㈱を経て、松下政経塾に入塾。京都大学大学院修了。98年7月から参議院議員(2期)。参議院環境委員長、民主党政策調査会長代理を経て、現在外務副大臣。</p> 
<p>に の ゆ さとし <b>二之湯智</b> 自民党(現) 京都府</p> <p>昭和19年生まれ。同62年京都市会議員初当選以来連続5回当選。平成11年京都市会議長、全国市議会議長会会長就任。同16年参議院議員初当選。同19年総務大臣政務官。現在、総務委員会委員、自民党京都府連会長代行。</p> 	<p>すえ まつ しん すけ <b>末松信介</b> 自民党(現) 兵庫県</p> <p>関西学院大法卒。元兵庫県議(6期)。平成16年参議院(兵庫県)初当選。同18年参議院国土交通委筆頭理事。同19年参議院国対副委員長。同20年財務大臣政務官。同21年自民党兵庫県連会長。</p> 
<p>つる ほ よう すけ <b>鶴保庸介</b> 自民党(現) 和歌山県</p> <p>東京大学法学部卒業。代議士秘書を経て1998年初当選。国土交通大臣政務官(2期)、参議院厚生労働委員長、党政務調査会水産部会長等。現在、党農林水産物貿易調査会副会長、日本ハンドボール協会副会長等。</p> 	<p>(順不同)</p>

## 国会議員等による確申期税務相談会場の視察

近畿税理士会では、所得税確定申告において、納税義務の適正な実現を図ることを目的とする税理士の立場及び税理士業務の社会公共性・独占性に鑑み各支部において税務相談会場及び税理士会館ではコールセンターを運営し税務支援、税務指導等の施策が実施された。

当連盟では、税理士会が行っている社会貢献事業である税務支援について理解を得るため、関係国会議員等に税務相談会場の実情視察方を要請したところ、39名の国会議員等(秘書を含む)が70の相談会場を視察した。

視察では、税理士による国会議員等後援会役員、支部及び支部連役員、本部役員が議員等を案内するとともに、近税会支部役員の協力を得て、税務支援の抱える問題点や、無料相談の意

義について説明を行った。また、相談に訪れた納税者と直接対話する機会もあり、中小事業者をはじめとする納税者の実情について理解を深めていただいた。

国会議員等からは、税理士が地域の中小事業者をはじめとする納税者に対し長年にわたり税務支援を行っていることに謝意が表され、申告納税制度の維持発展のために税理士が果たしている役割は多大であると再認識された。

視察後はそれぞれ国会議員等との懇談会を実施し、平成22年度税制改正において実現した項目について御礼申し上げ、積み残し部分の要望陳情を行うとともに、登録政治資金監査人をはじめとする公益的業務への税理士の選任について陳情を行った。

### 平成21年分「所得税確定申告期における税務相談会場」の視察実施状況

院	視察議員	選挙区	政党	日時	視察会場
衆	中野寛成	大阪8区	民主	2月22日(月)	豊中市民会館、千里朝日阪急ビル4階A&Hホール
衆	大谷信盛	大阪9区	民主	2月22日(月)	茨木市役所南館10階大会議室
衆	西野あきら	大阪13区	自民	2月22日(月)	東大阪納税協会、東大阪税務署
衆	長安 豊	大阪19区	民主	2月20日(土)	イオンモールりんくう
衆	井戸まさえ	兵庫1区	民主	3月8日(月)	灘納税協会、灘税務署
衆	石井登志郎	兵庫7区	民主	3月1日(月)	西宮税務署、西宮商工会議所
衆	松本剛明	兵庫11区	民主	3月4日(木)	花の北市民広場
衆	山口 壯	兵庫12区	民主	3月5日(金)	たつの市商工会新宮支所、たつの市商工会御津支所、赤穂市民会館
衆	滝 実	奈良2区	民主	2月18日(木) 2月25日(木)	生駒市コミュニティーセンター、大和郡山商工会館、川原城会館 大和郡山商工会館
衆	田野瀬良太郎	奈良4区	自民	2月26日(金)	葛城税務署3階相談会場
衆	柳本卓治	比例近畿	自民	2月22日(月)	西成税務署、西成納税協会、住吉税務署
衆	高市早苗	比例近畿	自民	2月22日(月)	生駒市コミュニティーセンター
衆	竹本直一	比例近畿	自民	2月26日(金)	天王寺納税協会
衆	松浪健太	比例近畿	自民	2月22日(月)	高槻現代劇場
衆	伊吹文明	比例近畿	自民	3月1日(月)	上京納税協会、中京納税協会、下京納税協会
衆	谷畑 孝	比例近畿	自民	2月26日(金)	天王寺納税協会
衆	柴山昌彦	比例北関東	自民	2月26日(金)	天王寺納税協会
衆	田中和徳	比例南関東	自民	2月26日(金)	天王寺納税協会
衆	村田吉隆	比例中国	自民	2月26日(金)	天王寺納税協会
参	おだち源幸	大阪府	民主	2月16日(火) 3月8日(月)	近畿税理士会館3階コールセンター、都島区民センター、千里朝日阪急ビル4階A&Hホール、茨木市役所南館10階大会議室、泉ヶ丘センタービル3階大集会室 大阪福島納税協会
参	北川イッセイ	大阪府	自民	3月4日(木)	天王寺納税協会
参	梅村聡	大阪府	民主	3月8日(月)	生野納税協会、生野税務署
参	谷川秀善	大阪府	自民	2月8日(月)	天王寺納税協会
参	福山哲郎	京都府	民主	2月19日(金)	ラクトスポーツプラザ
参	二之湯智	京都府	自民	2月19日(金)	西京区役所洛西支所、京都市北文化会館
参	末松信介	兵庫県	自民	3月5日(金)	うはらホール
参	鴻池祥肇	兵庫県	自民	2月8日(月)	尼崎商工会議所
参	世耕弘成	和歌山県	自民	2月19日(金)	J Aビル本館
参	石井 一	比例代表	民主	3月15日(月)	灘納税協会
非	大塚高司	非現職	自民	2月23日(火)	豊中市民会館、千里朝日阪急ビル4階A&Hホール
非	奥野信亮	非現職	自民	2月26日(金)	畿央大学E棟2階
非	北側一雄	非現職	公明	2月16日(火)	堺商工会議所2階税務相談会場
非	北川知克	非現職	自民	2月9日(火) 2月16日(火)	四条畷市民総合センター 大東市立市民会館
非	左藤 章	非現職	無所属	2月22日(月)	阿倍野産業会館3階、東住吉納税協会
非	関 芳弘	非現職	自民	2月16日(火)	神戸市立水産会館集会ホール、須磨税務署、須磨納税協会
非	清水鴻一郎	非現職	自民	2月26日(金)	伏見区役所醍醐支所
非	谷口隆義	非現職	公明	2月25日(木)	J A東淀川支店、西淀川中小企業会館、此花区役所
非	中山泰秀	非現職	自民	2月19日(金)	東成納税協会、鶴見区民センター、広域申告センターJ R北新地駅前、此花区役所
非	原田憲治	非現職	自民	2月17日(水)	箕面文化交流センター、茨木市役所南館

# 税務相談会場視察の様子①



中野寛成 衆議院議員(左から2人目)



大谷信盛 衆議院議員(右)



西野あきら 衆議院議員



井戸まさえ 衆議院議員(左から2人目)



石井登志郎 衆議院議員(右)



松本剛明 衆議院議員(中央)



山口壯 衆議院議員



滝実 衆議院議員(中央)



田野瀬良太郎 衆議院議員(左)



柳本卓治 衆議院議員(左)



高市早苗 衆議院議員



松浪健太 衆議院議員(中央)

# 税務相談会場視察の様子②



伊吹文明 衆議院議員(左)



左から村田吉隆 谷畑孝 柴山昌彦  
竹本直一 田中和徳 各衆議院議員



おだち源幸 参議院議員(左から2人目)



北川イッセイ 参議院議員(左から2人目)



梅村聡 参議院議員(中央)



谷川秀善 参議院議員(中央)



福山哲郎 参議院議員(左から2人目)



二之湯智 参議院議員(右から2人目)



末松信介 参議院議員(右)



鴻池祥肇 参議院議員



世耕弘成 参議院議員(中央)



石井一 参議院議員(左から3人目)

(次頁へ続く)

# 税務相談会場視察の様子③



大塚高司 前衆議院議員(右)



奥野信亮 前衆議院議員(右から2人目)



北側一雄 前衆議院議員(中央)



北川知克 前衆議院議員(左)



左藤章 元衆議院議員(左)



関芳弘 前衆議院議員(左から3人目)



清水鴻一郎 前衆議院議員(中央)



谷口隆義 前衆議院議員(左)



中山泰秀 前衆議院議員(左から2人目)



原田憲治 前衆議院議員(左)



## 後援会ニュース

### おだち源幸後援会 設立総会

「税理士によるおだち源幸後援会」設立総会が、平成21年12月20日、大阪市の帝国ホテル大阪において開催された。



おだち源幸 参議院議員

来賓としておだち源幸参議院議員、南出力利近畿税理士政治連盟会長が出席した。

河田秀雄発起人の司会により開会した。

はじめに、井戸本恭次発起人代表が「我々は、新しい時代に適合する申告納税制度と税理士制度を希求するものであり、税理士制度がその本来の機能を十分に発揮し、社会の要請に的確に対応することができる制度としていかなければならない。平成23年に予定されている税理士法の改正については、資格及び業際の問題をはじめとする諸課題の解決について、税理士会会員でもあるおだち源幸先生にご指導をお願いする」と設立趣意を説明した。

次に、田達満発起人が議長となり議事に入り、熱心な議論の末、後援会規約、活動方針及び予算がそれぞれ承認された。役員選任については、近税政本部と緊密な連携が取れる体制を目指し、井戸本会長、河田幹事長がそれぞれ承認された。すべて議案が承認され173人の会員で後援会が発足した。

続いておだち議員が「税政連の先生方におか

れては、常に適正な申告納税制度および税理士制度を発展させるためにご尽力いただいていることに感謝申し上げます。また後援会の設立に重ねて心から感謝申し上げます。私は一貫して、自身の公約である『税金の集め方と使い方を変える』『税金のムダ遣いを徹底的に改める』ことに取り組んできた。わが国は人口減少・超高齢社会というこれまで経験したことの無い新しい社会へ突入している。税制抜本改革を行うに際しては、こうした時代や社会の変化をしっかりと認識しなければならない。私は国政の場で税を専門として活動していきたいと思っている。ぜひ先生方の税に関する深く幅広い知見をご提供いただきたい」と謝辞を述べた。

続いて開催された懇談会では、おだち議員と会員が税制及び税理士法改正などについて懇談を行い、盛会のうちに閉会した。

### 岸本周平後援会 設立総会

税理士による岸本周平後援会が、2月6日、和歌山市の華月殿において開催された。

来賓として、岸本周平衆議院議員、井戸本恭次近税政幹事長、後安宏彦和歌山県支部連会長が出席した。後援会の会員は76人、当日の出席は32人。



岸本周平 衆議院議員

はじめに、山本哲夫発起人代表が設立趣旨を説明したあと、議事に入り後援会規約など全ての案件を審議し採決したところ、全て承認された。溝上裕章会長、川口昌紀幹事長が選任された。溝上会長は、和歌山1区において久しぶりに後援会を設立できたことの意義、今後は全力で岸本議員を支援し後援会を活発に活動していく旨の挨拶をした。

次に、岸本議員が、後援会設立への謝辞を述べ、民間企業での経験や事業仕分けの意義、今後とも活発に勉強会を開催していきたいとの挨拶をした。また井戸本近税政幹事長は、政権交代後の税政連の活動状況と岸本議員に税政連・税理士会への理解をお願いする旨の挨拶をした。

続いて開催された懇談会では、岸本議員と会員が懇談を深め、盛会のうちに閉会した。

翌日岸本議員から、素晴らしい後援会であるとの感想と、積極的に勉強会を開催し現場の声を伺い国政に活かしていくとの連絡があった。

(後安宏彦)

## 福山哲郎後援会 定期総会

税理士による福山哲郎後援会の第7回総会が、1月15日、ホテルモントレ京都において開催された。



福山哲郎 参議院議員

来賓として、福山哲郎参議院議員、近税政本部から南出力利会長、原綱宗総務会長、石原牧副幹事長、近税政京都府支部連から関本孝一会

長が出席した。また、前原誠司後援会の村中平治会長、松井孝治後援会の林佳弘会長、そして近畿税理士会京都府支部連合会から中野顕一副会長、志田育夫副会長、堀口裕弘副会長が、京都税理士協同組合からは清水久雄相談役が来賓として出席した。

森繁樹副幹事長の司会により開会し、作見藏市会長から、日頃の感謝と今後のますますの支援をお願いする旨の挨拶があった。

続けて総会議事に入り、國場淳会員が議長に選出され、芦田勝博幹事長より事業報告及び会計報告、後援会幹事長変更の件、選挙支援体制構築の件についての説明がなされ、いずれも賛成多数により原案どおり可決承認された。なお、新しい幹事長には植田順会員が選出された。

次いで関本支部連会長より、「選挙は水もの。安泰といわれるほど苦戦している。京都府下の税理士に一人でも多く後援会に入っていたら、福山議員が圧勝するよう、会員の皆様に協力していただきたい」と挨拶があった。

福山議員より「政権交代以後、長くて短い4カ月であった。今の状況を踏まえながら新しい道筋を作っていくのが我々の使命であると考えている。どうか参議院選挙では3度目の当選を果たせるよう後援会の皆様をお願いしたい」と挨拶があった。

次いで、南出近税政会長より「長年要望してきた特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入制度の廃止が決定した。福山議員には参議院選挙で圧勝され、引き続き我々のために、そして国民のためにご活躍されることを期待している」と挨拶があった。

清水久雄京税協相談役の乾杯で始まった懇親会では、福山議員は参加した会員と和やかに懇談し、外務副大臣としてのこれまでの活動や体験について詳細な国政報告が行われた。

最後に、原近税政総務会長の中締めの挨拶をもって、盛会の内に閉会となった。

(吉田和之)

## 前原誠司後援会 定期総会

税理士による前原誠司後援会定期総会が、1月20日、京都税理士会館において開催された。

来賓として、前原誠司衆議院議員ご令室前原愛理様、南出力利近税政会長、井戸本泰次近税政幹事長、関本孝一京都府支部連会長、芦田勝博支部連幹事長が出席した。



村中平治 後援会会長

北村光一郎事務局長の司会により開会し、村中平治会長が挨拶した。「前原先生は、公務ご多忙のうえ国会会期中ということから、残念ながら本日はご欠席されます。設立当時から申しておりますが、前原先生は、税理士会のことを非常に理解してくださっておられますし、我々も前原先生の人柄を信じて後援会を作りました。最近、税理士として理解に苦しむ問題が起こっておりますが、我々は前原先生を信じて、なお一層応援してまいりたいと思いますので、何卒ご支援ご努力を賜われますようお願いいたします」

次いで、総会に入り、議案はすべて原案通り承認可決された。その後、任期満了に伴う役員改選が行われ、現役員全員留任で承認可決された。

続いて、南出近税政会長より「前原先生は、国土交通大臣に就任され、国民のために一所懸命頑張っておられることから、地元になかなか帰ってこられない状況です。こういった時こそ、後援会活動が前原先生の支えとなっていくと思

いますので、今以上に頑張ってください」と挨拶。また、関本京都府支部連会長より「前原先生の足元を固める意味で、後援会のますますの拡充をしていただきたい」と挨拶があった。

ここでご欠席の前原議員にかわり愛理夫人より、前原議員の現況について報告された。「国土交通大臣の所管は、ダム問題、JAL問題、高速道路、船舶、宇宙などと非常に広範囲にわたっております。就任後4カ月経ちますが、本人は元気に意欲的に頑張っております。その一方で、閣僚の一員となったことから、地元に戻ることができません。よって、後援会の皆さまの支えがますます必要となってまいりますので、何卒よろしく願いいたします」

最後に、林伸三郎幹事長の閉会の挨拶をもって終了した。

(榎 和哉)

## 上野賢一郎後援会 定期総会

日 時 平成22年1月20日

開催場所 ホテルピアザびわ湖

来 賓

上野賢一郎 前衆議院議員

南出 力利 近畿税理士政治連盟会長

井戸本泰次 近畿税理士政治連盟幹事長

鈴木 康夫 近畿税理士政治連盟

滋賀県支部連合会会長

北浜 靖朗 山下英利後援会会長



上野賢一郎 前衆議院議員(左)と久保直己 後援会会長

税理士による上野賢一郎後援会の定期総会が開催された。織戸英信後援会幹事長の司会により開会し、久保後援会長より昨年の衆議院選挙における強力な後援会活動に対して謝辞が述べられた。当時の新聞を掲げながら「結果として非常に残念な形となったが、自民党滋賀県連会長に就任され、若さと行動力を発揮して頑張っておられる上野前議員を引き続き応援していく」と力強く挨拶された。

来賓紹介に続く挨拶で、上野前議員から昨夏の衆院選での応援に対する感謝とともに「今の日本の政治を見ると変わらなければならないところが多い。国民の目線に立った仕事をするにより、自民党を滋賀県にとって必要な組織に変えることが、県連会長としての仕事だと思っております。国政復帰をめざし、一生懸命頑張っていきます」と決意が述べられた。

続いて総会に入り、平成21年度活動報告及び会計報告並びに平成22年度運動方針及び収支予算(案)、さらに役員改選が執行部提案どおり満場一致で承認された。

続く来賓挨拶で、南出近税政会長が「上野前議員には再び国政の場で活躍していただきたい」との激励とともに、税政連活動の成果として『特殊支配同族会社の役員給与損金不算入制度の廃止』を挙げ、税政連及び後援会活動に対する謝辞を述べられた。

この後、井戸本近税政幹事長による乾杯の発声で懇親会が開宴し、和やかな歓談とともに大会は盛会裏に終了した。

(疊谷晴男)

## 谷口隆義後援会 定期総会

「税理士による谷口隆義後援会」第14回定期総会が、1月21日午後5時より、ラマダホテル大阪において開催された。

来賓として谷口隆義前衆議院議員とご令室、近畿税理士会から宮口定雄会長、近畿税理士政治連盟から南出力利会長、井戸本泰次幹事長、

近畿税理士政治連盟大阪府第2支部連合会から上田実会長、税理士とその関与先による中山泰秀後援会から新田博之会長が出席した。



谷口隆義 前衆議院議員

森下政彦副幹事長が司会を務め、平野隆照副会長の開会宣言の後、赤堀精一後援会会長から、政権交代を受けての税理士による後援会活動の重要性についての話と日頃の後援会活動への感謝と今後の更なるご協力をお願いの挨拶があった。

次いで総会に入り、入江壽夫副会長が議長に選任され、平成21年度運動経過報告及び収支決算承認の件が上程され、監事を代表して柿埜武会計監事が監査報告を行った後、採決され承認可決された。続いて平成22年度事業計画案及び収支予算案承認の件、並びに、任期満了による役員改選の件が上程され、原案通り承認可決された。

議事終了を受けて、谷口前議員が登壇し、昨年の衆議院議員選挙における応援に対する謝辞があり、民主党政権の問題点などについて述べ、必ずや再起を期すと力強く挨拶があった。

その後、南出近税政会長から総会の無事終了への祝辞と、「谷口前議員におかれましては、国政に復活していただき、ご活躍を期待するとともに会員の皆様には谷口前議員へのさらなる支援をお願いする」との挨拶があった。

次いで宮口近税会会長より、前回の税理士法改正の折には谷口前議員に大変お世話になったと挨拶があり、ぜひとも衆議院議員にカムバックしてもらって、現在進行している次の税理士

法改正についてもお力をお貸し願いたいとの激励があった。

最後に、大西賢藏相談役が、谷口前議員の主な功績を紹介して、閉会の挨拶に代えられた。

総会終了後、懇親会が松島萬三孝相談役の挨拶で開会し、来賓の上田支部連会長、新田会長の挨拶があり、井戸本近税政幹事長による乾杯の後、谷口前議員ご夫妻と親しく歓談し、盛会裏に終了した。(川崎哲之)

## 奥野しんすけ後援会 定期大会

◆平成22年1月21日(木) 割烹ふたかみ(大和高田市)

### 【来賓】

奥野しんすけ 前衆議院議員(自由民主党奈良県第三選挙区支部長)

大村 恵美子 近畿税理士政治連盟副会長

中畠 大 近畿税理士政治連盟  
奈良県支部連合会幹事長



奥野信亮 前衆議院議員(左)と辻井賢博 後援会会長

税理士による奥野しんすけ後援会定期大会が開催され、全議案(事業報告・役員改選等)が可決承認された。辻井賢博会長は留任し、以下の挨拶があった。

### ◆辻井賢博 会長 挨拶

衆議院議員選挙の結果は厳しいものであった。しかしこのような時こそ、奥野しんすけ前衆議院議員を応援していくので、会員の皆様には今後ともご支援よろしく願います。

### ◆奥野しんすけ 前衆議院議員 挨拶

前回衆議院議員選挙では保守票はじめ浮動票を取り込めなかった。生活が、将来安心して暮らせるようにしていく政策が必要であった。一番大きな敗因は政権交代という4文字に負けた。これから自民党もしっかりしていかなければならない。民主党に負けないように自民党は今年7月の参議院選挙で議席の奪還をめざす。これからも勉強会の開催をお願いしたい。中小企業や多くの国民の意見の代弁者として税理士の要望、改正実現に真剣に努力する。

### ◆大村恵美子 近税政副会長 挨拶

奥野しんすけ前衆議院議員は、経済界出身として経済に明るい政治家として、身近な経済の活性化のため、国会でのご活躍を期待している。これからも会員皆様の税政連活動への積極的なご参加をよろしく願います。

### ◆中畠大 奈良県支部連幹事長 挨拶

景気が厳しくても多くの中小企業が希望をてる、明るく元気な日本にしていきたい。これからお身体に気をつけて頑張っていたきたい。

(黒田有紀)

## 高市早苗後援会 国政報告会・激励会

◆平成22年1月30日(土) 奈良ロイヤルホテル(奈良市)



高市早苗 衆議院議員

### 【来賓】

高市 早苗 衆議院議員(自由民主党奈良県第二選挙区支部長)

大村恵美子 近畿税理士政治連盟副会長  
 桑野 秀郎 近畿税理士政治連盟副幹事長  
 国対委員長

税理士による高市早苗後援会国政報告会・激励会が開催された。

#### ◆武野勝文 会長 挨拶

平素は税理士による高市早苗後援会にご支援いただき有難く思う。高市議員は選挙区で惜敗したが比例復活当選された。自民党が野党になっても経済政策、税制に多大な力を発揮していただきたい。会員の皆様には更なるご支援よろしく願います。

#### ◆大村恵美子 近税政副会長 挨拶

高市早苗議員には、これからも納税者が望む景気浮揚策の要望、税制改正要望を国会に届けていただきたい。税政連も全力で支援活動をしていくので国政の場で活躍されることを期待している。さらなる高市早苗後援会の充実を祈念している。

#### ◆桑野秀郎 近税政副幹事長 挨拶

国対委員長として国会議員に陳情書・要望書を渡したり、各議員の国政報告会に行っている。高市早苗議員には、奈良のため、中小企業のため、税理士会のためにご尽力いただき感謝している。

#### ◆高市早苗 衆議院議員 挨拶

現在、毎日質問趣意書を提出し国会で頑張っている。自民党の経済産業政策に関する質問を書き、資料を集めている。

また、今は新たに法律案として提起されている外国人参政権に反対している。地方参政権だからいいで済む問題ではない。自衛隊、原子力発電所等々外国人が大きな影響力をもつ。周辺地域の有事の時の知事の許可も影響する問題が多くある。国益と安全に影響が及ぶことを慎重に考えていただきたい。国民には明確に反対の意見を表明してもらいたい。外国人参政権は違憲の疑いがある。

さらに、民法改正の重要点である、夫婦別姓を認める法律において、通称名の使用を可能に

する議員立法で法律案を提出する。

(黒田有紀)

## 清水こういちろう後援会 定期総会

税理士による清水こういちろう後援会定期総会が、2月1日にホテル日航プリンセス京都において開催された。

来賓として、清水こういちろう前衆議院議員、近畿税理士政治連盟から南出力利会長、原綱宗総務会長、九鬼郁雄副幹事長、京都府支部連合会から関本孝一会長、芦田勝博幹事長が出席した。



清水鴻一郎 前衆議院議員

田中明幹事長の司会により開会し、市川仁三後援会会長が「前回の総選挙は非常に残念な結果に終わってしまったが、今後の選挙はより一層のご協力をお願いします」との挨拶があった。

次いで総会に入り、田中英文会員を議長に選任し、第1号議案から第5号議案まですべて原案通り満場一致で承認された。

続いて、南出近税政会長が、「税政連としては軸足は税理士の立場におきながら国民のための税制の要望を出している。そのためには税理士を理解していただける先生を応援する。清水先生にはぜひとも国政の場に立ってほしい。会員の皆様にはできるだけ活発に応援してほしい」と挨拶があった。

また、関本支部連会長は「政治の世界は何が起るかわからない。日本・京都・税理士のためにご尽力いただきたい」と訴えた。

引き続いて、清水前議員より、「選挙は通らないとダメである。来るべき時のために後援会の維持をお願いします」と力強い言葉で挨拶がなされた。

最後に林光伸副会長の閉会の辞をもって終了した。

懇親会では谷久夫副会長の挨拶の後、芦田支部連幹事長の乾杯の発声で開宴した。清水前議員が各テーブルを回り、参加した役員、会員と親しく歓談され、次回選挙に向けての決意表明をされた。

最後に西村進副会長の締めの挨拶で終了した。

(笹井雅広)

## 松井孝治後援会 定期大会

税理士による松井孝治後援会の第4回定期大会が、1月30日、リーガロイヤルホテル京都において31人の参加で開催された。



北神圭朗 衆議院議員と林佳弘 後援会会長

来賓として近税政本部から九鬼郁雄副幹事長、原綱宗総務会長、京都府支部連から関本孝一会長、芦田勝博幹事長が出席した。

定期大会に先立ち、林佳弘会長が「この後援会の大会は毎年秋に開催してきたが、皆様ご高承のとおり松井議員は現在、内閣官房副長官として休日もなく首相官邸で政務に励んでおられ、京都へは全くといっていいほど戻れない状況にある。そこで今回は松井事務所と相談のうえ、定期大会と京都4区選出の北神圭朗衆議院

議員をお招きしての政局講演会の開催というかたちになったことをご理解いただきたい」と挨拶された。

次いで定期大会議長に、河原林温朗会員が選出され、第1号議案：活動報告、第2号議案：会計（監査）報告、第3号議案：役員改選案について執行部より説明があり、全て拍手多数で可決された。その結果、新しく会長には竹村一志会員が就任し、幹事長も小泉直樹会員から西田孝浩会員に交代した。

定期大会の最後には、筆頭秘書である松下正丞氏より、政権交代後、鳩山内閣の中核として活躍されている松井議員の近況が報告された。

定期大会終了後、経済産業委員会筆頭理事で国会対策委員会副委員長の北神議員による政局講演が、①民主党政権の現状②民主党政権と税制をテーマに行われた。

引き続いて開催された懇親会には、近税政本部の南出力利会長も駆け付けられ、講演会講師の北神議員や松下秘書を囲んで多くの会員が親しく懇談し、盛会のうちに閉会となった。

(矢田善久)

## 松本たけあき後援会 定期大会

税理士による松本たけあき後援会定期大会が、2月13日、姫路市の森富において開催された。



松本剛明 衆議院議員

来賓として、松本たけあき衆議院議員、井戸本泰次近畿税理士政治連盟幹事長、藤岡保近税

政兵庫第4支部連会長が出席した。大会に先立ち、前田俊明後援会長が「後援会活動に一層のご支援、ご協力をお願いしたい」と挨拶した。

次いで、毛利恵行会員が議長に選出され、平成21年度事業報告、収支決算報告、監査報告が、原案通り可決承認され、続いて平成22年度事業計画(案)、収支予算(案)が満場一致で承認された。

引き続き、松本議員より「政治を変えることで税金の使い方を改めることができると訴えてきました。これは民主党の公約でもあり、天下りやムダ遣いが続き、地域や生活に届かない政策が繰り返されるのは政治構造に原因があります。徹底的に行財政改革を進めることが、有効に税金を使うこととなります。疲弊した地域経済を立て直し、生活に安心を提供し、少子高

齢化や地球環境問題に適合できる経済・社会の構造を創らなくてはなりません。是非、皆様のご指導・ご支援をお願い申し上げます」と力強い言葉で挨拶があった。

続いて、井戸本近税政幹事長からは、政府より税理士会へ行政刷新会議への参加要請があったこと、また「税制調査会の納税環境整備小委員会」へ近畿税理士会より推薦税理士が出席の予定であることが報告された。

藤岡会長からは、11区・12区ともに民主党議員を選出し、非常に力強い限りであり、これからもご協力をお願いしたいとの挨拶がなされた。

引き続き、懇親会が開催され盛会のうちに終了した。  
(一井正彦)

## 「支部長・後援会連絡会議」を開催

本部では、支部活動・後援会活動の活性化を目的に「支部長・後援会会長連絡会議」を近畿2府4県の各地において開催することとしている。

その第1回目として、4月14日に近畿税理士会館3階会議室において、大阪府、和歌山県、奈良県の各支部及び後援会を対象に開催した。

冒頭、井戸本幹事長より、平成22年度税制改正の総括と政府税制調査会の専門家委員会への税理士の登用などについて報告されるとともに、平成23年度税制改正について、民主党政権下における改正手続きや要望の受付態勢など陳情活動の留意点などが説明された。

次に、河田後援会対策委員長より、先ごろ行った後援会アンケートの結果について説明がなされ、本部において今後の活性化のための施策立案を行っていく旨が説明され、続いて、橋本財務委員長から、支部活動及び会費収納についての本部施策の説明と今後における活性化策の提案等を行い、支部長・後援会会長と熱い意見



交換を行った。

昨年の衆議院選挙に引き続き、今年も参議院選挙が予定されており、効果的な運動の方法も変化していくことが予想されるが、我々は税理士党として、活動の基本である国会議員に税理士制度及び申告納税制度への理解を深めていただくことを継続するとともに、推薦国会議員に対する後援活動を強化することを改めて確認した。

## 会員研修会開催

本部では、1月14日に大阪市の国民会館12階大ホールにおいて、峰崎直樹財務副大臣、永橋利志近畿税理士会調査研究部長を講師に迎え、会員研修会（近畿税理士会認定研修）を開催した。

来賓として中野寛成衆議院議員、おだち源幸参議院議員、池田隼啓日本税理士会連合会会長、宮口定雄近畿税理士会会長が出席した。



研修会は2部構成で、第1部では峰崎副大臣から「わが国税制の将来と税理士の役割」を、第2部では永橋利志近畿税理士会調査研究部長から「平成22年度税制改正について」をテーマとして講演があった。

第1部の峰崎副大臣からは、経済・社会構造の変化に対し「人間のための経済」「チルドレンファースト」「地域主権」「持続可能な低炭素社会」「政府への信頼を回復」「国民不安を解消」をテーマに対応を進めること、また民主党政権による税制改正について、制度が公平で、かつ、制度の内容が透明でわかりやすく、その制度に基づいて納税することについて納得できるものとする、世代間、世代内の両面にわたり、お互いに「支え合い」、共によりよい社会をつかっていくために必要な費用を社会全体で分かち合うという視点に基づいて、改革を実行していく旨などが説明された。また、税制と社会保障制度の一体的改革や地域主権を確立するための



峰崎直樹 財務副大臣

税制について検討を進めていくことが述べられた。さらに税制改正の仕組みとして、与党税制調査会と政府税制調査会の機能の一元化をはかり、法的な権限や責任を明確することなどが説明された。

第2部講師の永橋部長からは、平成22年度税制改正大綱に盛り込まれた内容として、中小企業の設備投資の促進や少額減価償却資産の特例の延長、企業活動のグローバル展開を支える税制の整備などについて解説され、さらに個人所得課税、法人課税、国際課税、資産課税、消費税についての中長期的展望についても解説があった。

研修会は約200人が参加し、民主党政権による税制改正の方向性と今年度改正に対する関心の高さがうかがえた。



永橋利志 近税会調査研究部部長

## さわやかな風に吹かれて淡路島へ

タコフェリーで明石港を出航し、東経135度日本標準時子午線を通り、明石海峡大橋の下をくぐり、約15分で岩屋港へ着きました。

「淡路島花博2010花みどりフェア」の会場では、「奇跡の星の植物館」に入館しました。ここでは、色とりどりの花や巨大サボテンなどがあり、パンフレットによると、「宇宙の塵から偶然に生まれた奇跡の星、自然を見つめ、植物の美しさや不思議さを知り、地球に生きることの素晴らしさ、この奇跡を守ることの大切さに気づくために作られた生命のミュージアム」で、地球温暖化が危惧されているなか、地球を守っていくことの大切さを、思いました。

次に、淡路島牧場へ行き、試飲コーナーでは、生乳100%の牛乳をいただきましたが、味がびっくりするほどおいしく、自由に試飲でき、1000ml近く飲めました。

それから大鳴門橋に行き、時間帯も良かったのでしょうか、大きな渦が勢いよく巻いていました。近くの売店では、特産を使ったソフトクリーム（玉ねぎ、鳴門金時、びわ、すだち）が並べられ、びわソフトは、とてもフルーティで、鳴門金時は紫色がきれいでそれぞれ個性豊かな味を楽しみました。

帰りは夜になり、明石海峡大橋を利用しましたが、橋は2色（ゴールドとブルー）に点灯され、海峡を通る船の灯りが点々と浮かび、遠くには、明石市街の夜景がきらきらと光り、幸せな気分で帰ってきました。

（西宮支部 森本幸子）



## 近税政本部のうごき

### ○第2回組織委員会（1月14日）

- ・会員研修会の運営について
- ・諸規程の見直しについて

### ○会員研修会（1月14日）

- ・「我が国税制の将来と税理士の役割」  
峰崎直樹財務副大臣

- ・「平成22年度税制改正について」

永橋利志近畿税理士会調査研究部長

### ○第3回組織委員会（書面審議）（3月23日）

- ・会員研修会の開催について

### ○平成21年度・第3回推薦審査会（書面審議）

（3月18日）

- ・京都府知事選挙における推薦候補者の決定について

### ○第4回推薦審査会（4月5日）

- ・第22回参議院議員通常選挙における推薦候補者の決定について
- ・選挙支援体制について

### ○第5回広報委員会（4月7日）

- ・機関紙第175号（新年号）の批評
- ・機関紙第176号（5月号）の編集に関する件
- ・ホームページに関する件
- ・広報企画に関する件
- ・機関紙第177号の編集企画に関する件
- ・その他

## 銀河系

「みんなの党」「たちあがれ日本」「日本創新党」等々、今の政治の閉塞感を打開するため新しい政党・政治団体がうぶ声を上げている。誰もが新しい政治に期待をしている。しかし、政党マニフェストは責任のある主張でなければ意味がない。私たち国民も、あるべき国を見据えてじっくり考えなければならない。

カラーで見やすくなった「近畿税政連」はどうでしょうか。新企画も採り入れ、新しい紙面を目指します。

（黒田有紀）